

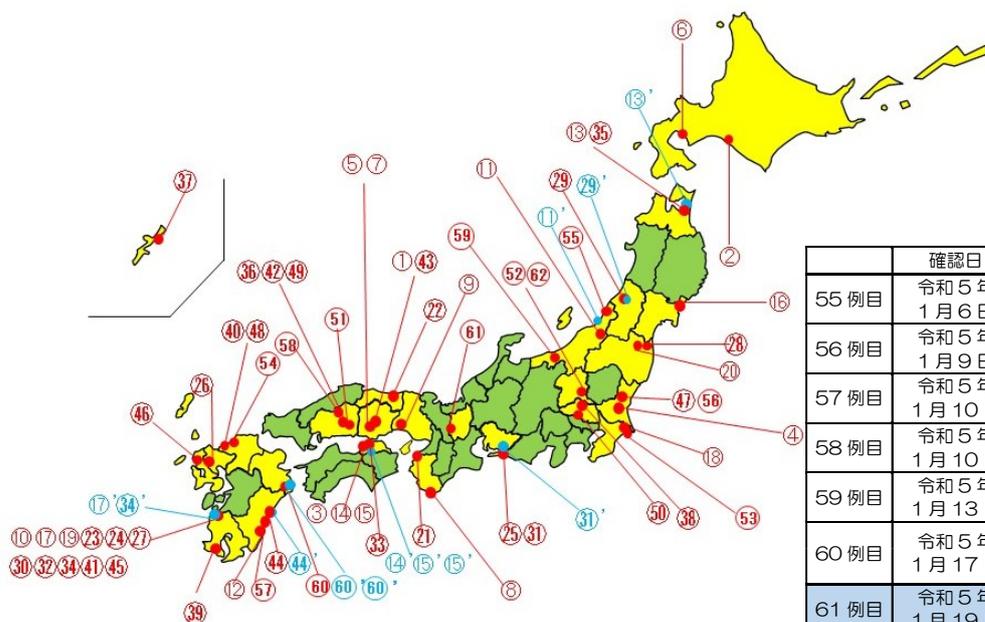
家畜保健衛生所情報

令和5年1月20日

高病原性鳥インフルエンザの発生相次ぐ 殺処分数は1,000万羽を超える

去年10月28日に岡山県と北海道で今シーズン初の発生が確認されて以降、過去にないペースで発生が相次ぎ、鶏などの殺処分数は過去最多およそ987万羽であった2020年から2021年のシーズンを上回り、57例目（1月10日）で1,000万羽（国内の採卵鶏飼養羽数の1割弱）を超えました。さらに1月19日には、近畿圏で4例目、滋賀県での発生も見られました。

生産者の方々には、改めて裏面のチェック表を活用し、飼養衛生管理の取組状況の再確認をお願いするとともに、消毒の実施やウイルスを運ぶ野生動物が入り込まないよう施設の補修を速やかに行うといった対策を徹底して下さい。



(出典：農林水産省ホームページ)

	確認日	所在地	飼養状況	羽数
55例目	令和5年 1月6日	新潟県村上市	採卵鶏	約130万羽
56例目	令和5年 1月9日	茨城県城里町	採卵鶏	約93万羽
57例目	令和5年 1月10日	宮崎県川南町	採卵鶏	約10万羽
58例目	令和5年 1月10日	広島県三次市	採卵鶏	約83.5万羽
59例目	令和5年 1月13日	新潟県上越市	採卵鶏	約10.5万羽
60例目	令和5年 1月17日	大分県佐伯市	肉用鶏	約1.3万羽
		同県同市(2農場)		合計約4.3万羽
61例目	令和5年 1月19日	滋賀県大津市	採卵鶏	約4,000羽
62例目	令和5年 1月19日	群馬県前橋市	採卵鶏	約45万羽

《消石灰散布の方法》

〈散布箇所〉

- 家きん舎の周囲及び境界線の付近を幅1 m以上

〈散布量〉

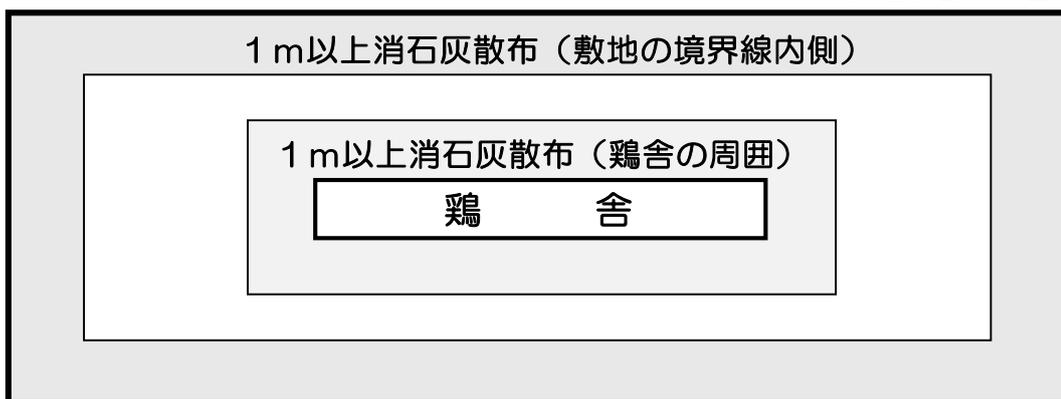
- 0.5～1.0 kg/m²
- 1袋（20 kg）で幅1 m、長さ10～20 m
- 地面の表面がムラなく白くなる程度に均一に撒いて下さい。



〈散布時の注意〉

- 消石灰は強いアルカリ性です。取り扱いには十分注意し、散布時はゴム手袋、マスク、ゴーグル、長袖作業着、帽子などを必ず着用して下さい。
- 万が一、目や喉に入ったり、皮膚などに付着した場合は、速やかに水で洗い流して下さい。
- 散布に際しては、周囲に十分配慮し、周辺に人がいないことを確認してから散布するようにして下さい。

《消石灰散布のイメージ》 （*色付部分が石灰散布範囲）



《改めて飼養衛生管理基準の遵守状況の点検をお願いします!!》

家畜保健衛生所からも、特に下記の7項目に対して一斉点検を実施します。
ご自身でも下の表を使って点検して下さい。

点検内容	○,×
① 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等（項目13）	
② 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用（項目14）	
③ 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等（項目15）	
④ 家きん舎に立ち入る者の手指消毒等（項目20）	
⑤ 家きん舎ごとの専用の靴の設置及び使用（項目21）	
⑥ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕（項目24）	
⑦ ねずみ及び害虫の駆除（項目26）	

本情報に関するお問い合わせ及び通報先は

大阪府家畜保健衛生所

〒598-0048 泉佐野市りんくう往来北1-59

TEL 072-458-1151 FAX 072-458-1152
